

# 生活像 ～地域(駅利用圏)別カルテ～ (暫定版)

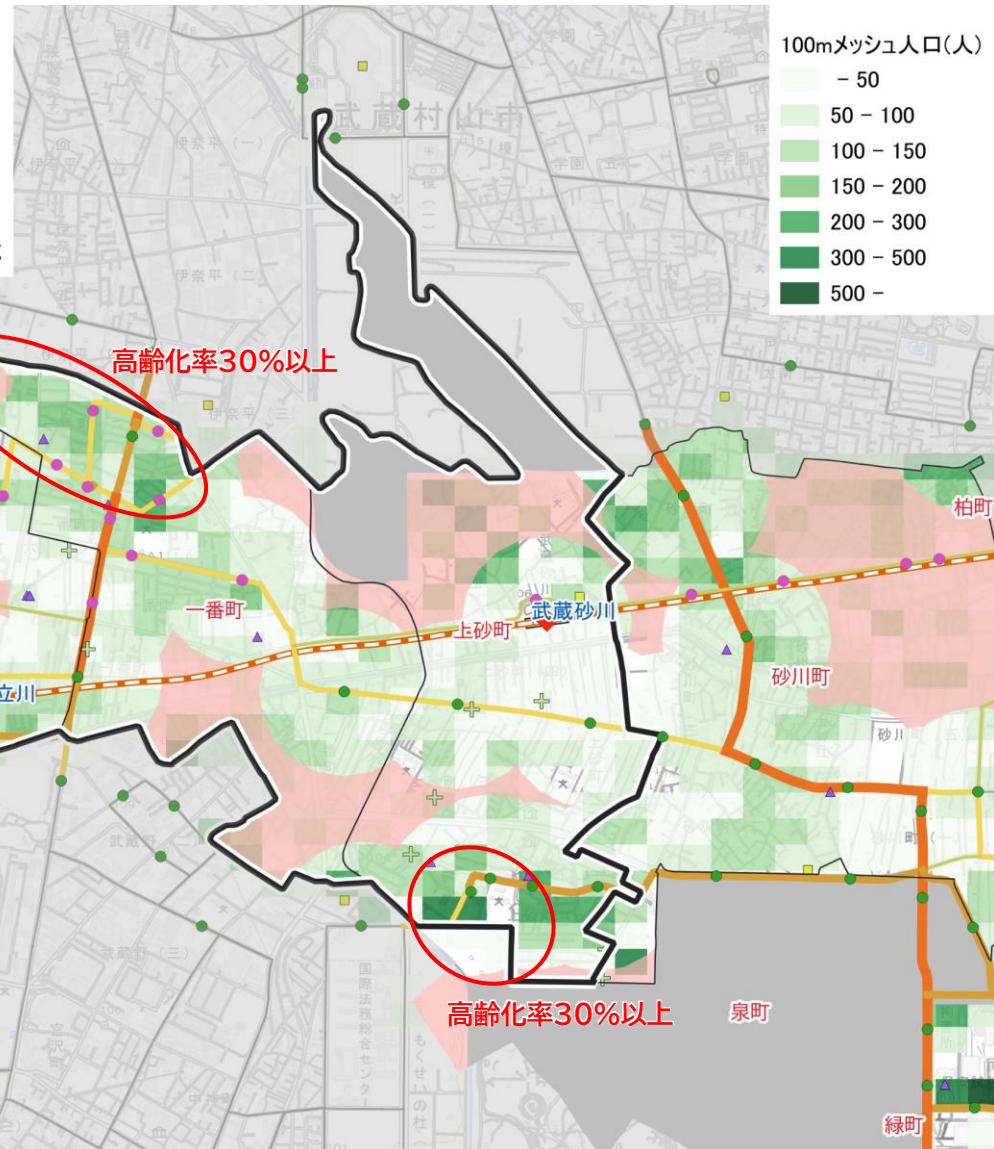
※本資料で示す「地域」は、市民アンケートの設問「自宅からの外出時に最初に利用する鉄軌道駅」への回答傾向をもとに、町をグルーピングしたものです。(※ワークショップの開催地域区分とは異なるため、ご注意ください)

# 目次

- ・西砂町・一番町・上砂町-----P3~P4
- ・砂川町・柏町・幸町-----P5~P6
- ・若葉町・栄町-----P7~P8
- ・高松町・曙町・泉町・緑町-----P9~P10
- ・富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町-----P11~P12

# 地域別カルテ①（西砂町・一番町・上砂町） -地域・移動特性- （表）

- 主要施設**
- 商業施設
  - 医療施設
  - 公共施設
- 駅/停留所**
- 鉄道駅
  - 路線バス停留所
  - ぐるりんバス/路線・ぐるりんバス共同停留所
- 交通不便地域**
- 鉄軌道駅もしくは運行本数片道17(本/日)以上のバス停から300m以遠の地域



図：現況図(西砂町・一番町・上砂町)

出典：国土数値情報、国土地理院地図より作成

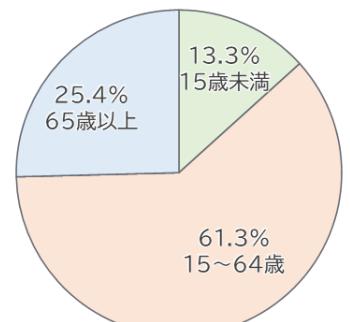
表：町別の市民の行先(発着地)

発地	総トリップ数(発)	ゾーン内々	着地(上位5位)				
			1位	2位	3位	4位	5位
西砂町	5,600	27%	昭島市	東京23区	武蔵村山市	一番町	立川駅周辺
			13%	8%	7%	6%	4%
一番町	5,500	24%	昭島市	武蔵村山市	西砂町	東京23区	上砂町
			12%	11%	7%	6%	5%
上砂町	7,000	26%	東京23区	昭島市	武蔵村山市	砂川町	一番町
			11%	9%	7%	7%	4%

出典：株式会社a900p「ポイント型流動人口データ」

表：町別人口推移・R6高齢化率

	人口(人)	2015年→2024年人口増減率	高齢化率(R6)
西砂町	11,027	125%	17.2%
一番町	13,336	102%	28.7%
上砂町	10,766	97%	29.8%
合計	35,129	104%	25.4%



図：R6年齢構成比

出典：国勢調査、住民基本台帳より作成

表：自宅からの外出時最初に利用する鉄軌道駅

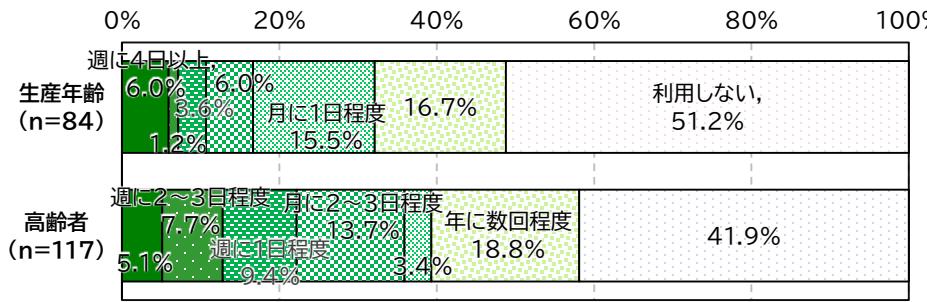
西砂町・一番町・上砂町	
生産年齢(n=81)	
1位	西武立川駅 54%
2位	武蔵砂川駅 27%
3位	その他(昭島等) 10%
高齢者(n=90)	
1位	西武立川駅 37%
2位	武蔵砂川駅 29%
3位	立川駅 21%

※上位3位のみ抜粋

表：主な目的における外出時市内において利用する交通手段

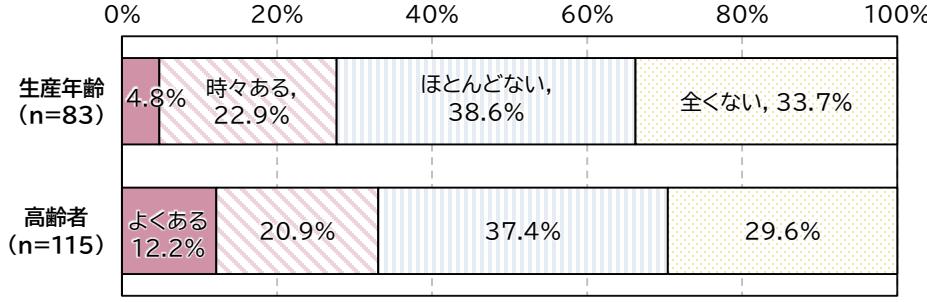
西砂町・一番町・上砂町	
生産年齢(n=226)	
1位	自動車(自分で運転) 42%
2位	自転車(所有) 26%
3位	徒歩 22%
高齢者(n=286)	
1位	路線バス 32%
2位	自動車(自分で運転) 27%
3位	徒歩 21%

出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査



出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図：路線バスの利用頻度

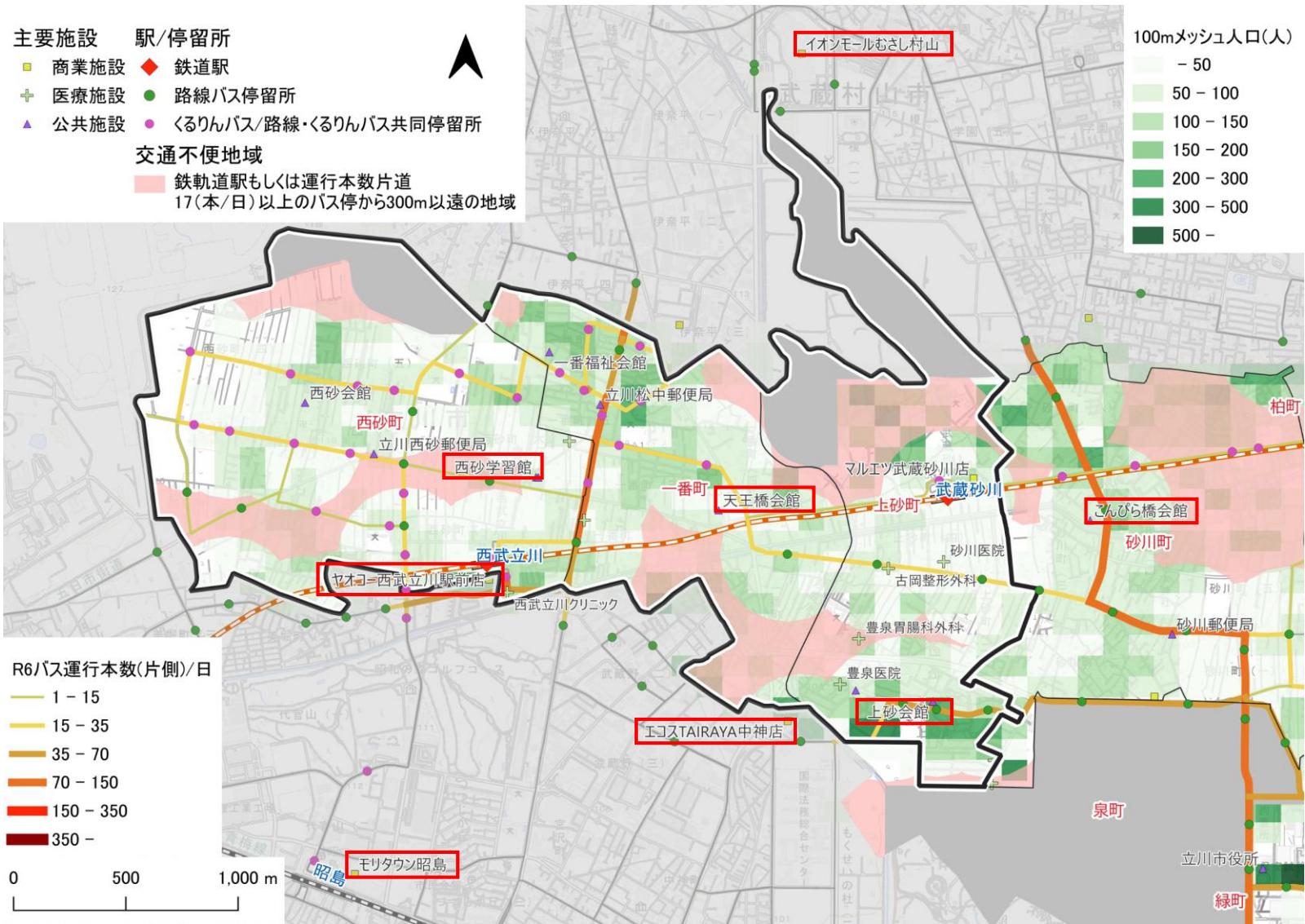


出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図：交通手段が理由で外出をあきらめたことの有無

- ・【人口/高齢化率】一番町が微増、上砂町が微減傾向。西砂町は人口増減率が125%と最も高い。高齢化率は一番町と上砂町が29%前後であるのに対し、西砂町は約17%である。
- ・【交通不便地域】運行本数の少ないバス路線周辺やバス停から距離のある場所など、西砂町、一番町、上砂町の一部地域では交通不便地域が存在する。
- ・【鉄軌道駅/移動手段】自宅からの外出時、最初に利用する鉄軌道駅は、西武立川駅・武蔵砂川駅の利用が多い。生産年齢は自動車、自転車の利用率が高く、高齢者では路線バス、自動車の利用率が高い。
- ・【路線バス利用頻度/外出をあきらめたことの有無】高齢者の約22%が週1回以上、路線バスを利用している。交通手段が理由で外出をあきらめたことのある高齢者の割合は約33%である。

# 地域別カルテ①（西砂町・一番町・上砂町）-施設立地・主な利用施設-（裏）

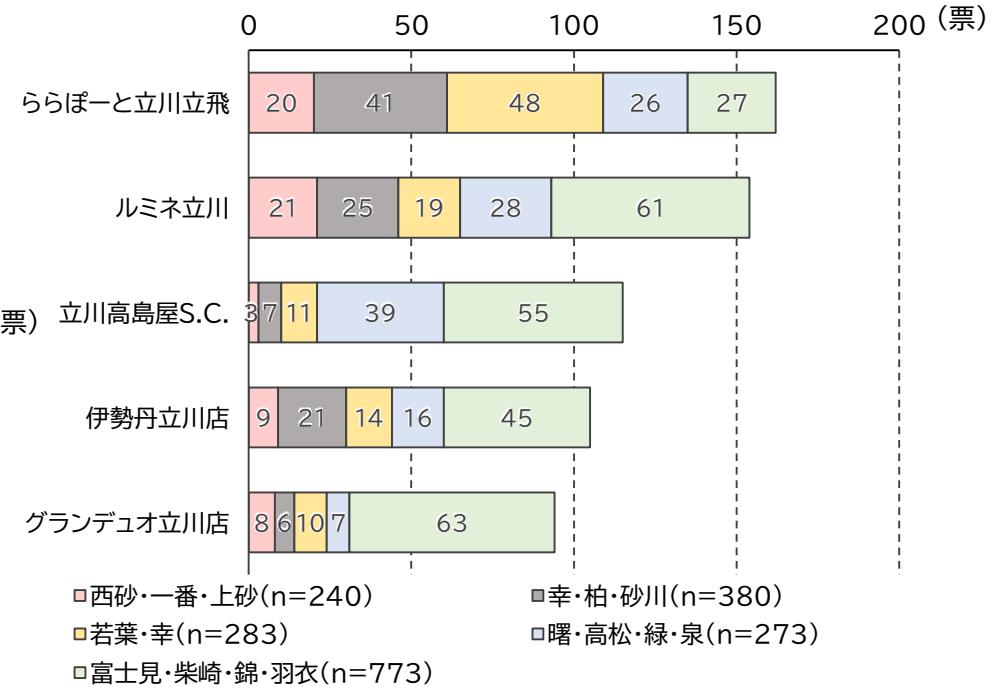


図：現況図(西砂町・一番町・上砂町) 出典：国土数値情報、国土地理院地図より作成

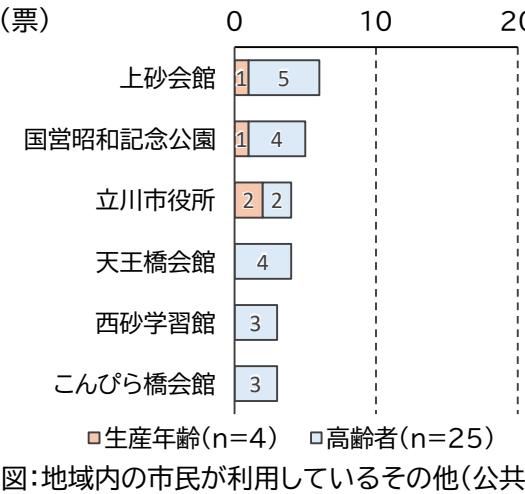
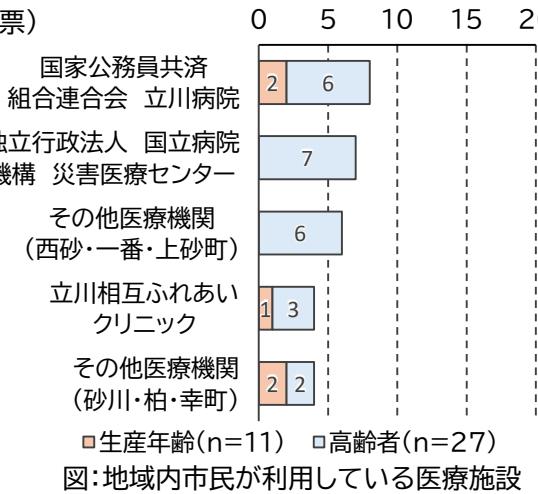
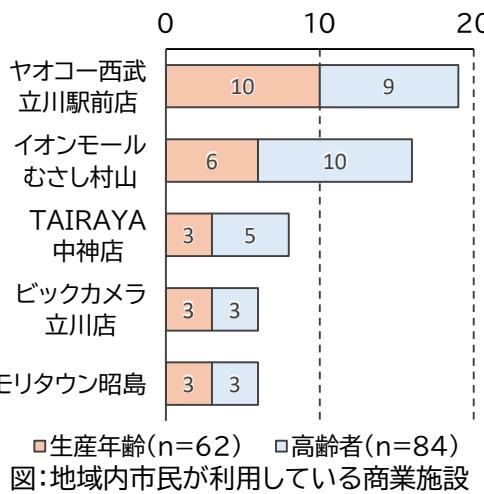
## ■ ワークショップにおけるご意見の抜粋 (主な利用施設に関する内容)

- ・日常的な買い物は**西武立川駅(ヤオコー)**、**昭島駅(モリタウン)**方面で済ませていることが多い(一番町地域は武蔵村山方面も)。**自動車利用者は、買い物の行先はさまざま**。【西砂町・一番町】
- ・**地域外の医療機関**を利用していることが多い。地域外の総合病院へは駅からの**シャトルバス**などを**活用**している。【西砂町・一番町】
- ・地域内に**公共施設**(会館、学習館・リサイクルセンターなど)は**充実**している。公共交通でのアクセスが課題。【西砂町・一番町】
- ・連絡所ではできない手続き等のために**市役所に行く際は不便**(昭島駅から電車で立川駅に行く必要あり)。【西砂町・一番町】

## ■ 【参考】(市域全体の最も・2番目・3番目によく出かけた目的における行先)



図：地域内市民が利用している施設(市域全体合計)



※「主な外出目的」：市民アンケートにおいて日常生活における1・2・3番目に多いと回答された目的  
 ※上位5施設を掲載、【参考】に示す市域全体で訪れる機会の多い施設は集計から除外

・【商業施設】西武立川駅、武蔵砂川駅付近に立地しているほか隣接市にも立地しており、「ヤオコー西武立川店」の利用が多いほか、「イオンモールむさし村山」などの近隣市の商業施設の利用している人もいる。  
 ・【医療施設】医療機関は地域内に点在。大規模な総合病院を利用している人もいれば地域内の医療機関を利用している人もいる。  
 ・【公共施設】西砂学習館、一番福社会館、西砂会館、天王橋会館、上砂会館などの地域の公共施設が複数立地している。

# 地域別カルテ② (砂川町・柏町・幸町) -地域・移動特性- (表)

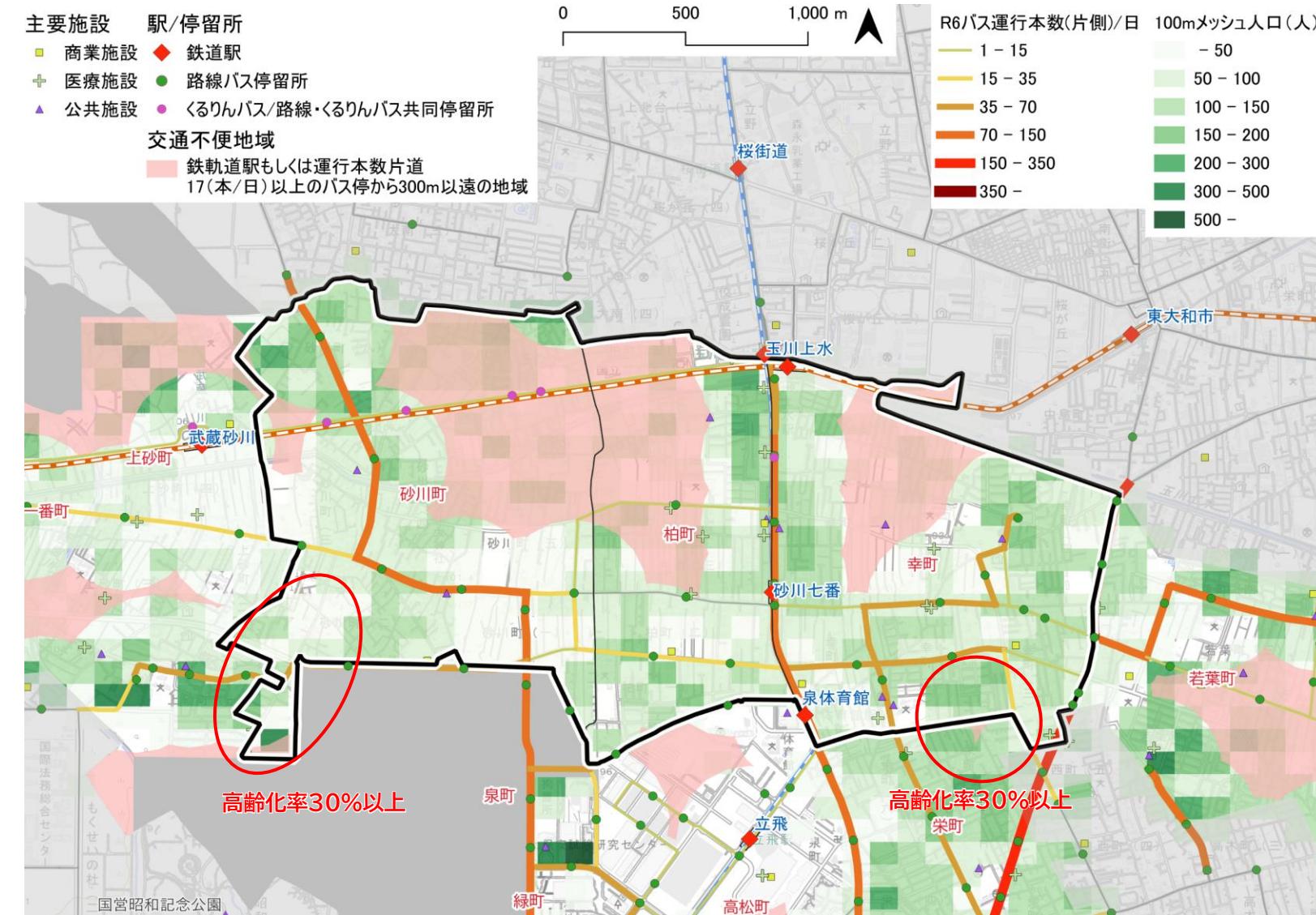


図: 現況図(砂川町・柏町・幸町)

出典: 国土数値情報、国土地理院地図より作成

表: 町別の市民の行先(発着地)

発地	総トリップ数(発)	ゾーン内々	着地(上位5位)				
			1位	2位	3位	4位	5位
砂川町	9,000	27%	東京23区	武蔵村山市	柏町・幸町	立川駅周辺	昭島市
			8%	8%	7%	6%	6%
柏町・幸町	14,000	34%	東京23区	立川駅周辺	泉町・緑町(東)	砂川町	若葉町
			10%	7%	6%	5%	3%

出典: 株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」

表: 町別人口推移・R6高齢化率

	人口	2015年→2024年人口増減率	高齢化率(R6)
砂川町	17,719	108%	24.7%
柏町	9,586	104%	23.9%
幸町	13,942	105%	26.4%
合計	41,247	105.9%	25.1%

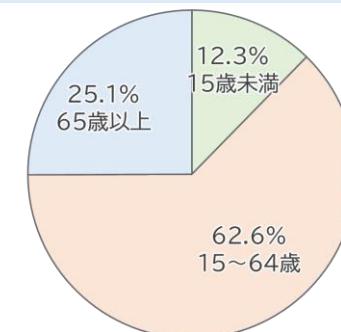


図: R6年齢構成比

出典: 国勢調査、住民基本台帳より作成

表: 自宅からの外出時最初に利用する鉄軌道駅

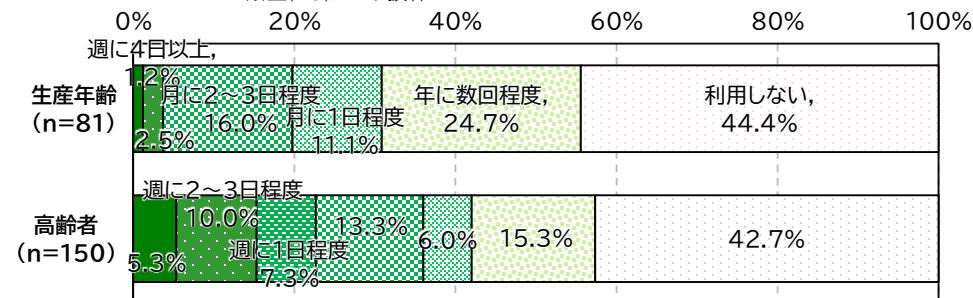
砂川町・柏町・幸町		
生産年齢(n=66)		
1位	玉川上水	39%
2位	砂川七番	23%
3位	立川	15%
高齢者(n=95)		
1位	立川	40%
2位	玉川上水	27%
3位	泉体育館	14%

※上位3位のみ抜粋

表: 主な目的における外出時市内において利用する交通手段

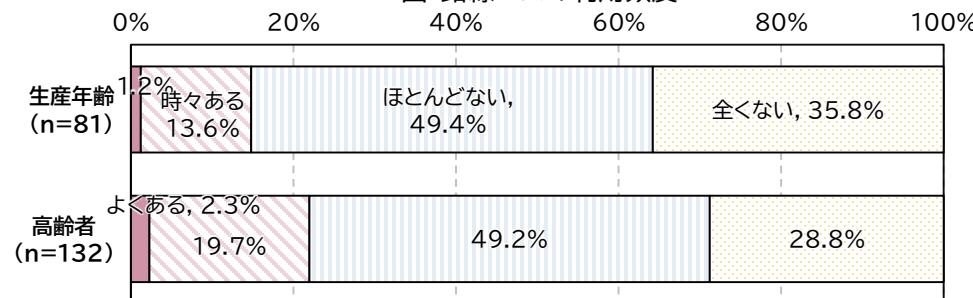
砂川町・柏町・幸町		
生産年齢(n=229)		
1位	自動車(自分で運転)	39%
2位	自転車(所有)	37%
3位	鉄道・モノレール	25%
高齢者(n=371)		
1位	路線バス	26%
2位	自動車(自分で運転)	26%
3位	徒歩	23%

出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査



出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 路線バスの利用頻度

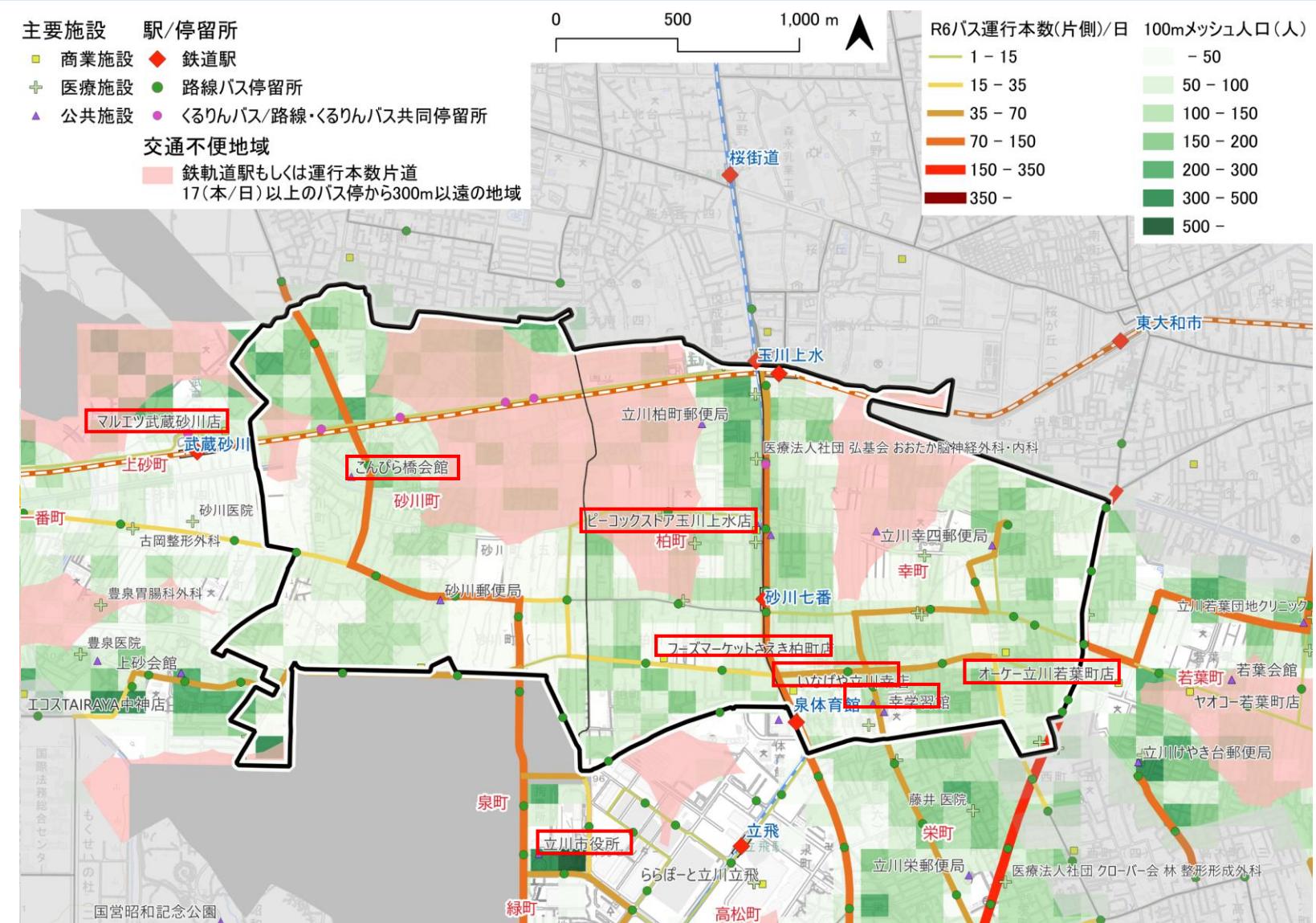


出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 交通手段が理由で外出をあきらめたことの有無

- ・【人口/高齢化率】人口は砂川町、柏町、幸町ともに微増傾向である。高齢化率は、各町で25%前後であり、砂川町と幸町の一部地域で30%を超えている。
- ・【交通不便地域】運行本数の少ないバス路線周辺やバス停から距離のある場所など、砂川町、柏町、幸町のバス停から距離のある地域では交通不便地域が存在する。
- ・【鉄軌道駅/移動手段】自宅からの外出時、最初に利用する鉄軌道駅は、生産年齢では玉川上水駅、高齢者では立川駅の利用が最も多い。生産年齢では自動車、自転車、高齢者では路線バス、自動車の利用率が高い。
- ・【路線バス利用頻度/外出をあきらめたことの有無】高齢者約23%が週1回以上、路線バスを利用している。交通手段が理由で外出をあきらめたことのある高齢者の割合は約22%である。

# 地域別カルテ② (砂川町・柏町・幸町) -施設立地・主な利用施設- (裏)

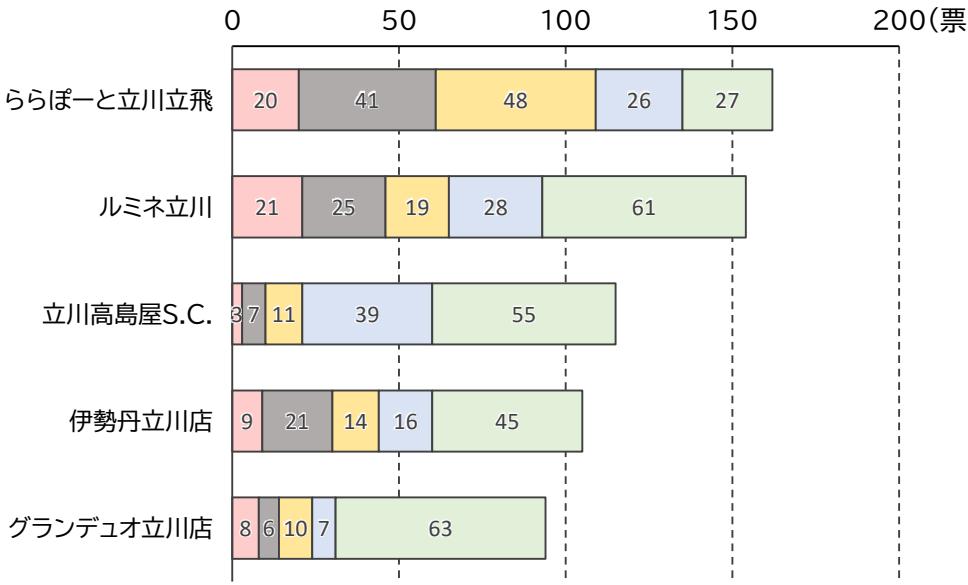


## ■ ワークショップにおけるご意見の抜粋 (主な利用施設に関する内容)

・砂川町では町内にスーパーがないため、日常的な買い物は柏町方面(ピーコック、いなげや)、武蔵村山市(イオンモール)、上砂町(マルエツ)まで自動車や自転車で行っている。

・東西方向の公共交通が乏しいため、移動手段を持たない高齢者は買い物に不便を感じている。

## ■ 【参考】(市域全体の最も・2番目・3番目によく出かけた目的における行先)



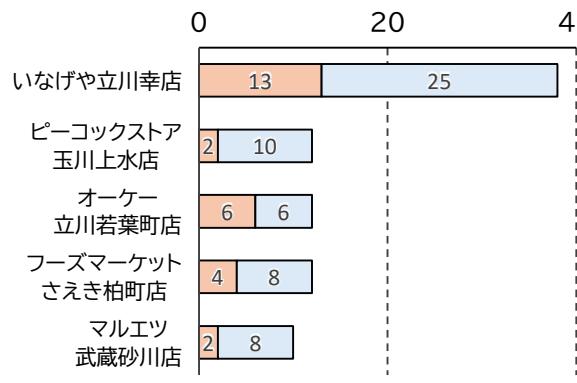
□西砂・一番・上砂(n=240) □幸・柏・砂川(n=380)  
 □若葉・幸(n=283) □曙・高松・緑・泉(n=273)  
 □富士見・柴崎・錦・羽衣(n=773)

図: 地域内市民が利用している施設(市域全体合計)

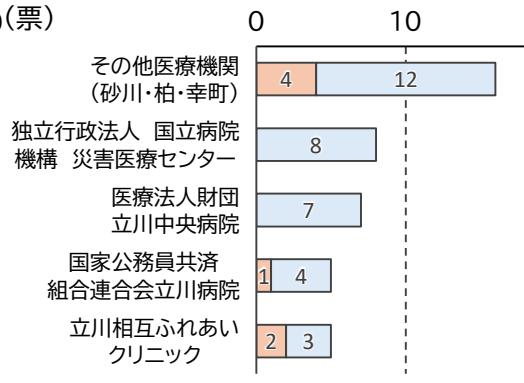
※「主な外出目的」: 市民アンケートにおいて日常生活における1・2・3番目に多いと回答された目的  
 ※上位5施設を掲載、【参考】に示す市域全体で訪れる機会の多い施設は集計から除外

図: 現況図(砂川町・柏町・幸町)

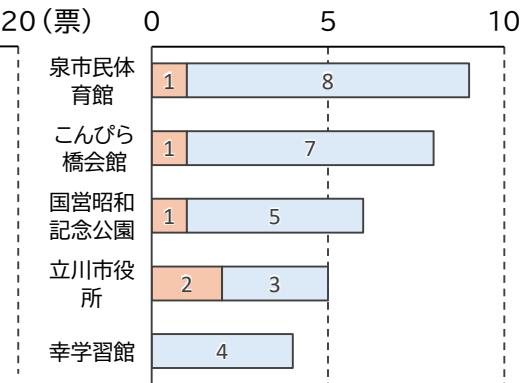
出典: 国土数値情報、国土地理院地図より作成



□生産年齢(n=86) □高齢者(n=151)  
 図: 地域内市民が利用している商業施設



□生産年齢(n=12) □高齢者(n=51)  
 図: 地域内市民が利用している医療施設



□生産年齢(n=6) □高齢者(n=38)  
 図: 地域内の市民が利用しているその他(公共等)施設

・【商業施設】砂川町には立地がないものの、柏町および幸町に複数立地しており、「いなげや立川幸町店」の利用が多い傾向にある。

・【医療施設】地域内では幸町に立地が多く、砂川町には立地が少ない。地域内の医療施設の利用がある一方で、規模の大きい総合病院を利用している人も一定数いる。

・【公共施設】砂川学習館(工事中)・幸学習館、こんぴら橋会館・こぶし会館、幸福社会館などの地域の公共施設が立地している。

# 地域別カルテ③ (若葉町・栄町) -地域・移動特性- (表)

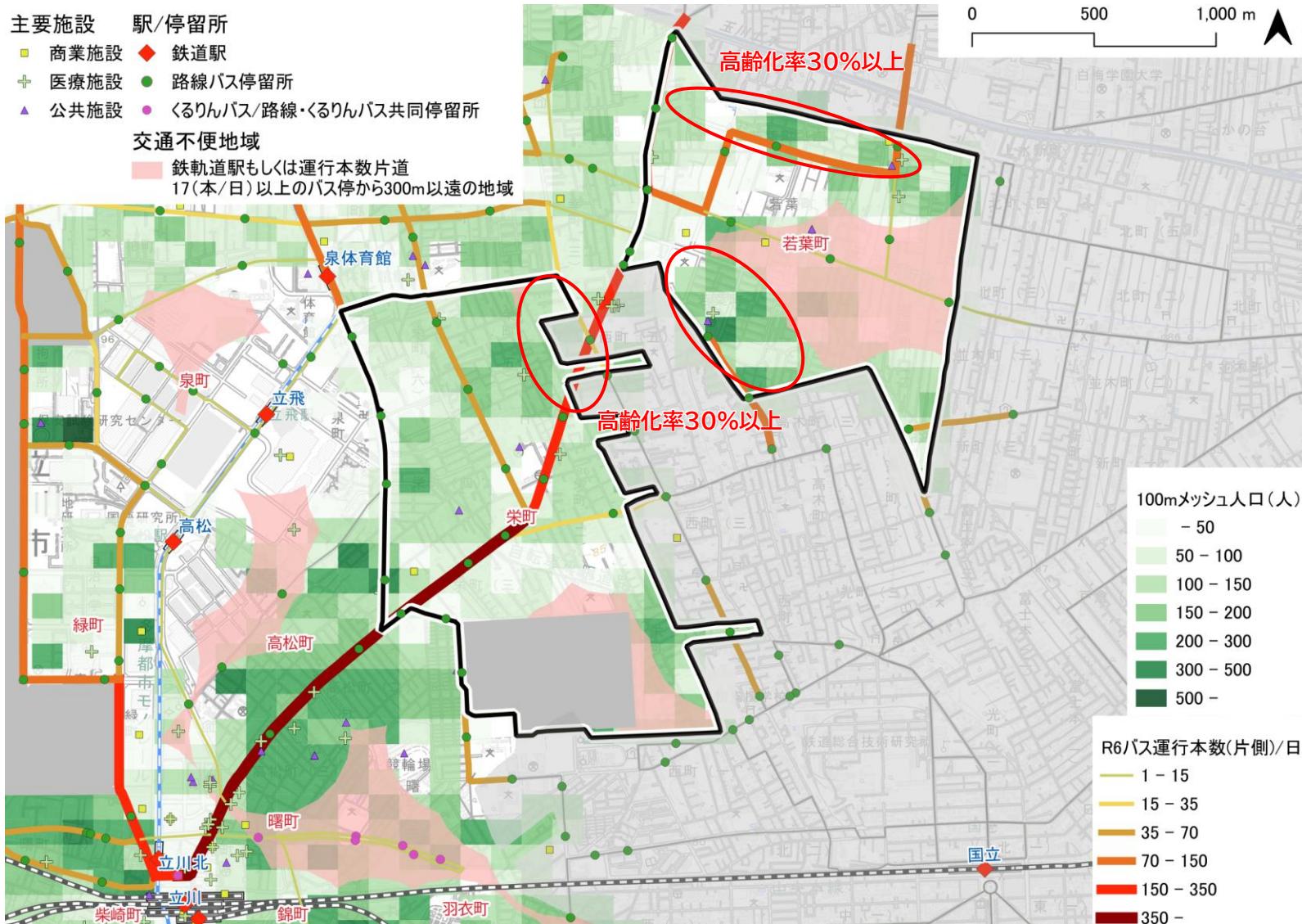


図: 現況図(若葉町・栄町)

表: 町別の市民の行先(発着地)

発地	総トリップ数(発)	ゾーン内々	着地(上位5位)				
			1位	2位	3位	4位	5位
若葉町	4,700	33%	東京23区	柏町・幸町	国分寺市	立川駅周辺	小平市
			9%	9%	5%	5%	4%
栄町	5,400	31%	立川駅周辺	柏町・幸町	東京23区	高松町・曙町	泉町・緑町(東)
			10%	8%	8%	5%	5%

出典: 株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」

表: 町別人口推移・R6高齢化率

	R6人口	2015年→2024年人口増減率	高齢化率(R6)
若葉町	11,031	88%	34.0%
栄町	12,967	100%	25.0%
合計	23,998	94.4%	29.1%

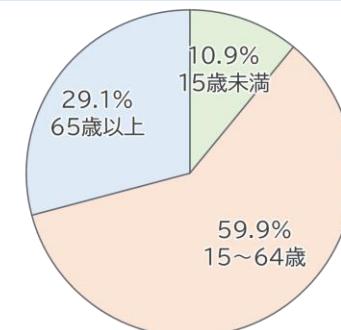


図: R6年齢構成比  
 出典: 国勢調査、住民基本台帳より作成

表: 自宅からの外出時最初に利用する鉄軌道駅

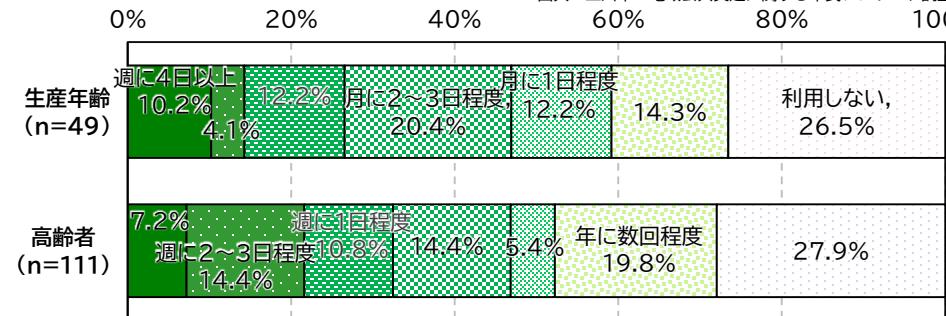
若葉町・栄町		
生産年齢(n=46)		
1位	立川	54%
2位	その他(国立等)	35%
3位	泉体育館	9%
高齢者(n=96)		
1位	立川	69%
2位	その他(国立等)	24%
3位	泉体育館	3%

※上位3位のみ抜粋

表: 主な目的における外出時市内において利用する交通手段

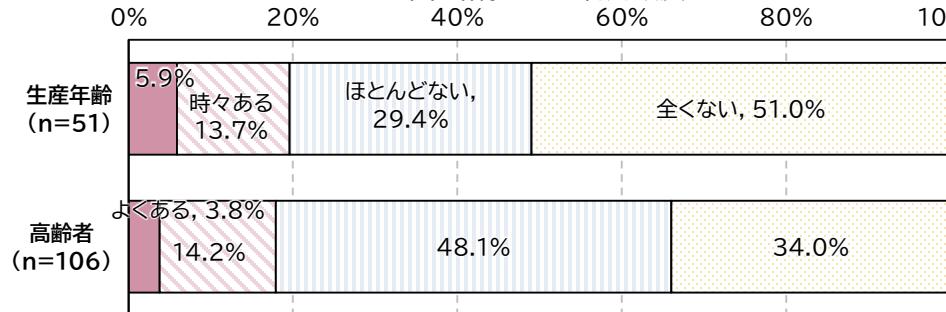
若葉町・栄町		
生産年齢(n=141)		
1位	自転車(所有)	50%
2位	徒歩	30%
3位	自動車(自分で運転)	24%
高齢者(n=287)		
1位	路線バス	41%
2位	自転車(所有)	23%
3位	徒歩	22%

出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査



出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 路線バスの利用頻度

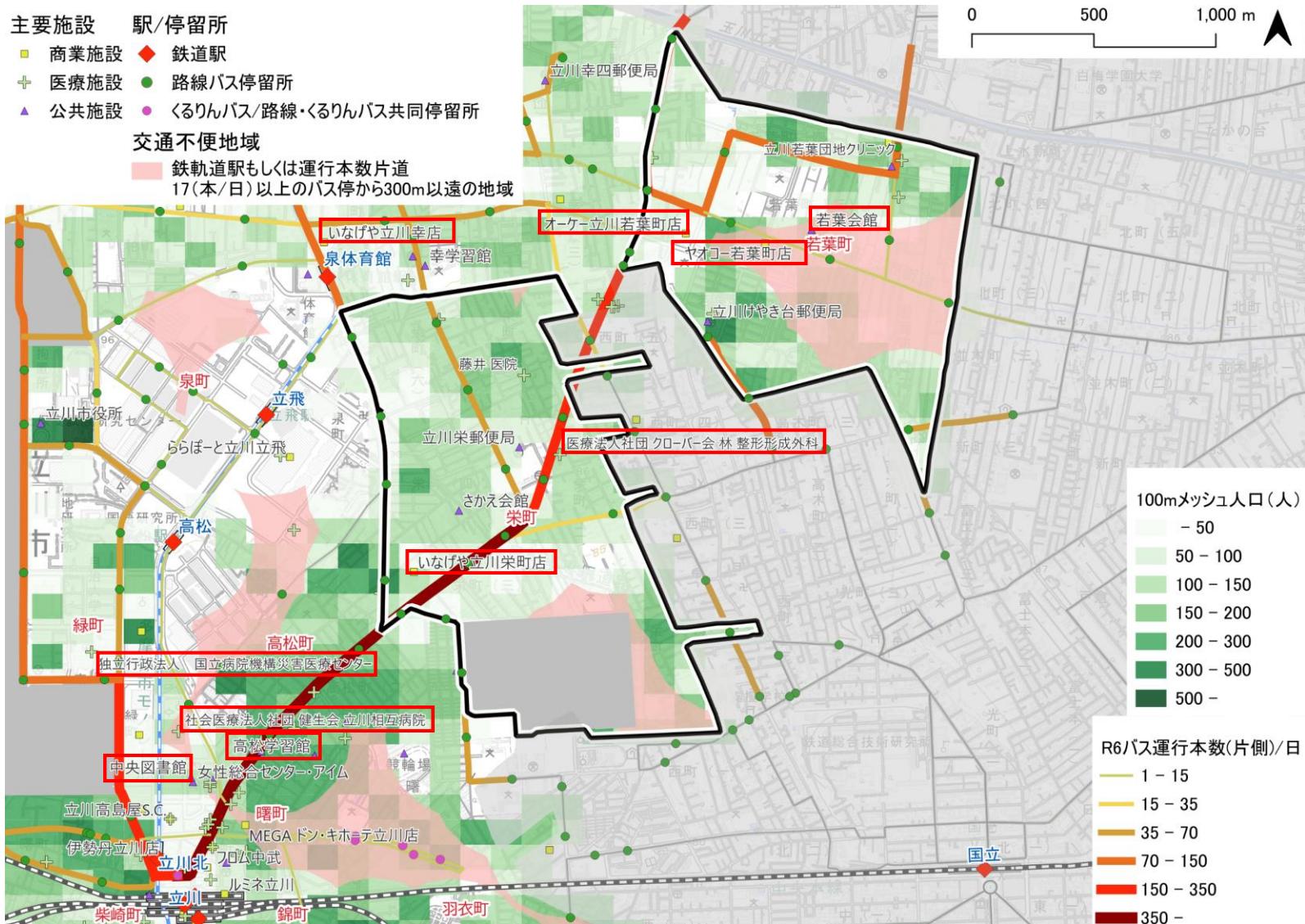


出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 交通手段が理由で外出をあきらめたことの有無

- ・【人口/高齢化率】人口は若葉町で減少傾向であり、栄町でほぼ横ばいである。若葉町の高齢化率は34%となっており、若葉町団地、けやき台団地周辺が高い傾向にある。栄町では高齢化率が25%となっており、北東部に高齢化率が30%を超える地域がある。
- ・【交通不便地域】立川通りを中心に多くの路線バスが運行しているが、若葉町の東部や栄町の一部に交通不便地域が存在する。
- ・【鉄軌道駅/移動手段】自宅からの外出時、最初に利用する鉄軌道駅は、立川駅が最も多いものの、国立駅などの隣接市の鉄道駅の利用も多い。生産年齢は自転車の利用率が高く、高齢者では路線バスの利用率が最も高い。
- ・【路線バス利用頻度/外出をあきらめたことの有無】高齢者約32%が週1回以上、路線バスを利用している。交通手段が理由で外出をあきらめたことのある高齢者の割合は約18%である。

# 地域別カルテ③ (若葉町・栄町) -施設立地・主な利用施設- (裏)



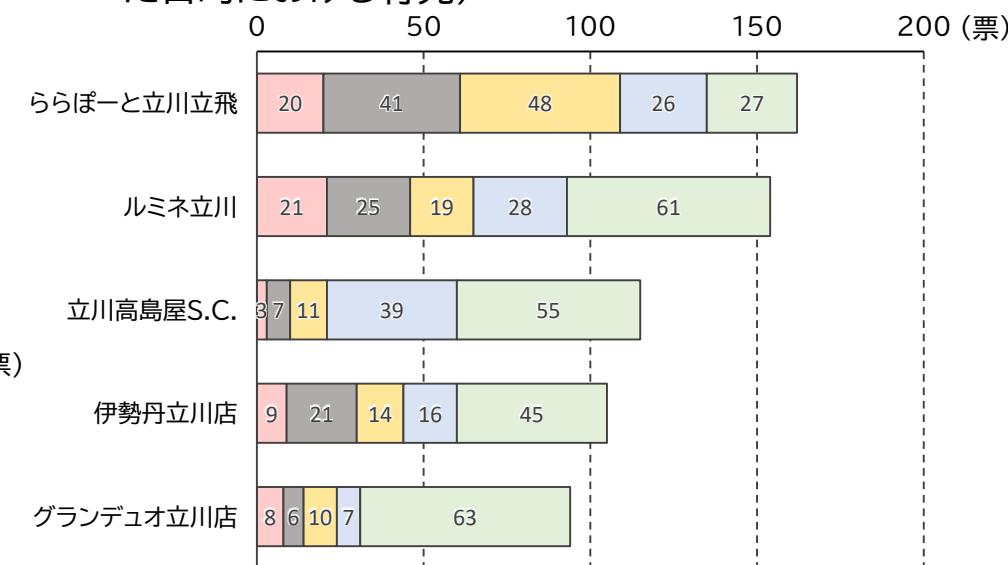
図：現況図(若葉町・栄町)

出典：国土数値情報、国土地理院地図より作成

## ■ ワークショップにおけるご意見の抜粋 (主な利用施設に関する内容)

- ・地域内にスーパー(オーケストア、ヤオコーetc.)や病院などの施設が整っている。【若葉町】
- ・東西方向の路線バスがないため、若葉町方面から公共交通で市役所(連絡所でできない手続き等)や泉市民体育館(健康づくり)に行く際は立川駅を経由する必要がある。
- ・バス停やスーパーなどから距離がある若葉町の一部地域では、高齢者はタクシーしか移動手段がない。

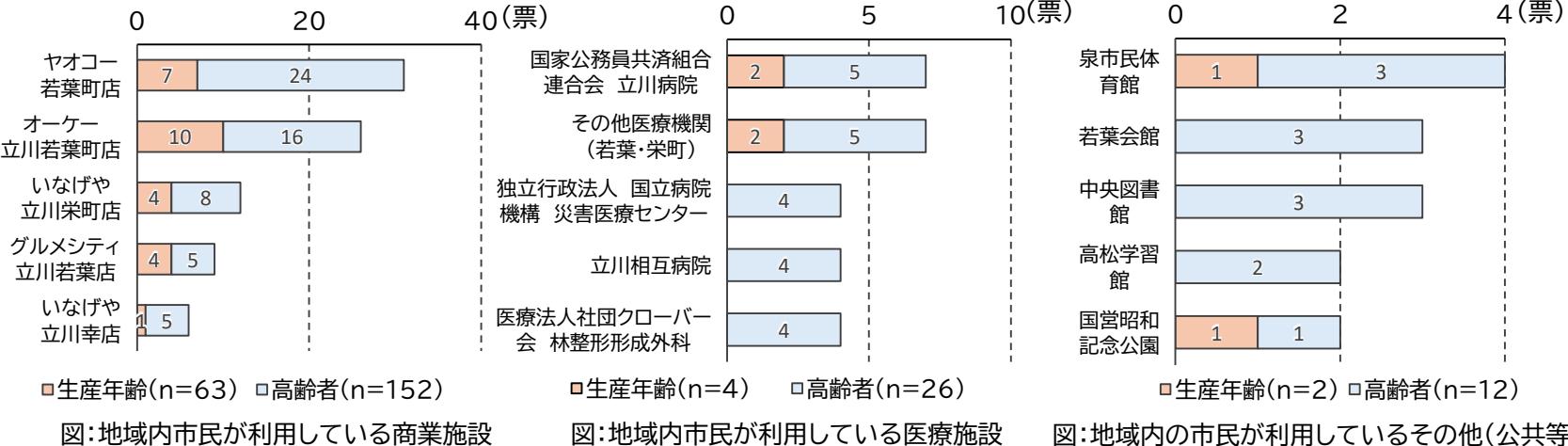
## ■ 【参考】(市域全体の最も・2番目・3番目によく出かけた目的における行先)



□西砂・一番・上砂(n=240) □幸・柏・砂川(n=380)  
 □若葉・幸(n=283) □曙・高松・緑・泉(n=273)  
 □富士見・柴崎・錦・羽衣(n=773)

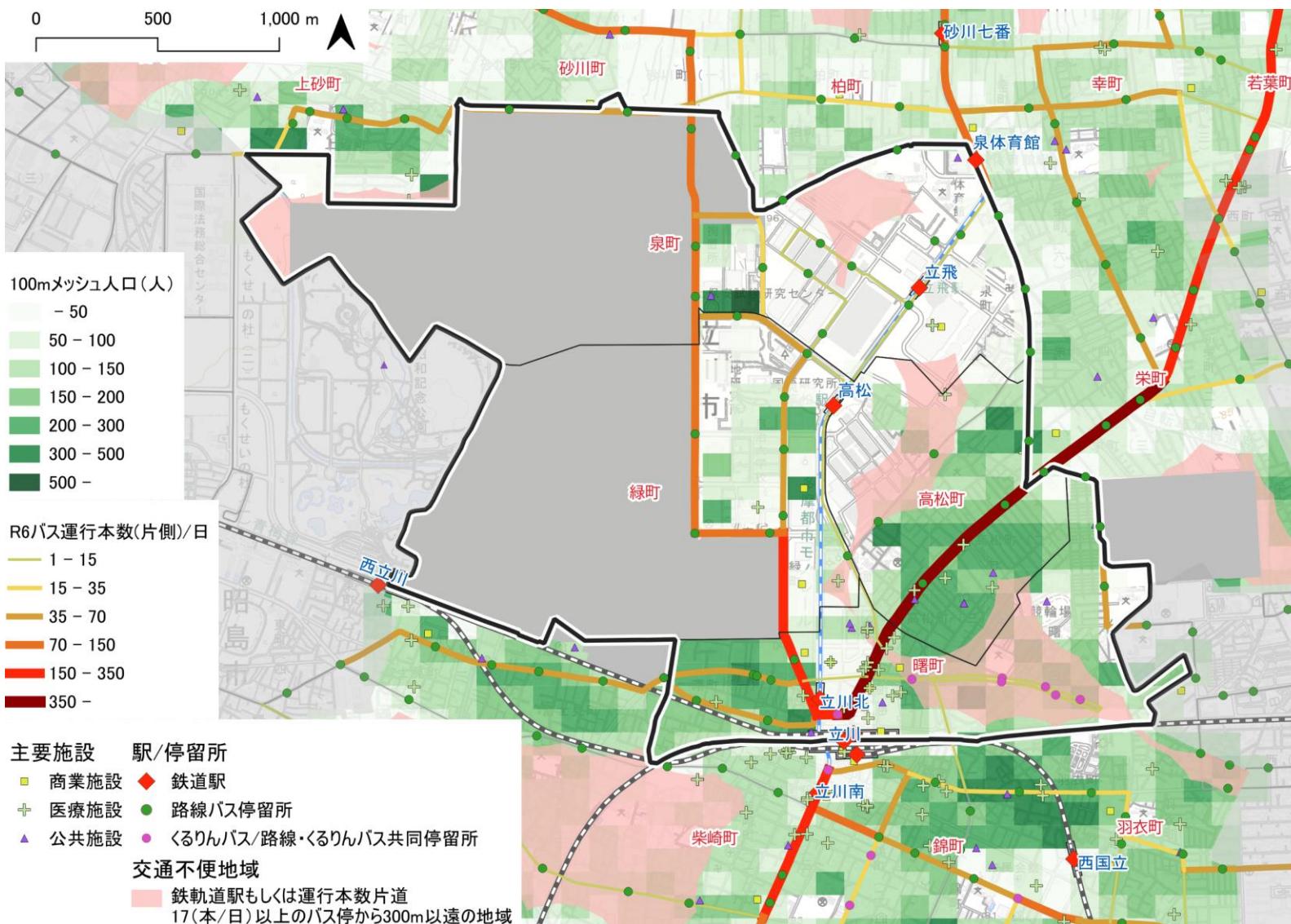
図：地域内市民が利用している施設(市域全体合計)

※「主な外出目的」:市民アンケートにおいて日常生活における1・2・3番目に多いと回答された目的 ※上位5施設を掲載、【参考】に示す市域全体で訪れる機会の多い施設は集計から除外



- ・【商業施設】若葉町に複数立地している。栄町には1か所立地しているほか、国立市との市境付近に複数立地している。
- ・【医療施設】若葉町では立川通りや五日市街道沿道に複数立地しており、栄町では立川通りや江の島道に立地している。地域内の医療機関の利用しているほか、規模の大きい総合病院を利用している人もいる。
- ・【公共施設】若葉会館、若葉図書館、さかえ会館などの地域の公共施設が立地している。

# 地域別カルテ④ (高松町・曙町・泉町・緑町) -地域・移動特性- (表)



図：現況図(高松町・曙町・泉町・緑町)

出典：国土数値情報、国土地理院地図より作成

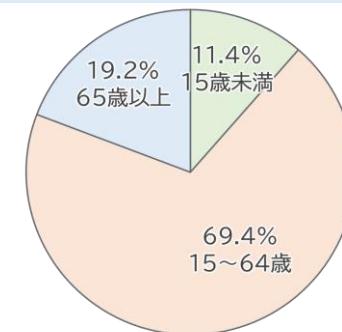
表：町別の市民の行先(発着地)

発地	総トリップ数(発)	ゾーン内々	着地(上位5位)				
			1位	2位	3位	4位	5位
泉町・緑町(西)	1,200	15%	立川駅周辺	砂川町	泉町・緑町(東)	東京23区	昭島市
			12%	9%	9%	7%	6%
泉町・緑町(東)	7,600	20%	柏町・幸町	立川駅周辺	砂川町	東京23区	富士見町・柴崎町
			13%	13%	6%	5%	5%
高松町・曙町	5,200	30%	立川駅周辺	東京23区	泉町・緑町(東)	柴町	柏町・幸町
			18%	13%	6%	6%	2%

出典：株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」

表：町別人口推移・R6高齢化率

	人口	2015年→2024年人口増減率	高齢化率(R6)
高松町	11,942	122%	20.0%
曙町	12,664	113%	20.9%
泉町	1,352	96%	16.5%
緑町	1,952	73%	5.7%
合計	27,910	111.6%	19.2%



図：R6年齢構成比

出典：国勢調査、住民基本台帳より作成

表：自宅からの外出時最初に利用する鉄軌道駅

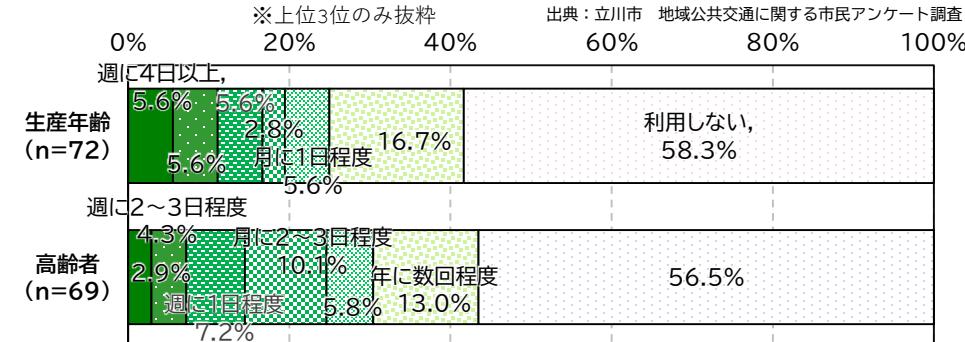
高松・曙町・緑町・泉町		
生産年齢(n=70)		
1位	立川	91%
2位	高松	9%
3位	-	-
高齢者(n=53)		
1位	立川	96%
2位	高松	4%
3位	-	-

※上位3位のみ抜粋

表：主な目的における外出時市内において利用する交通手段

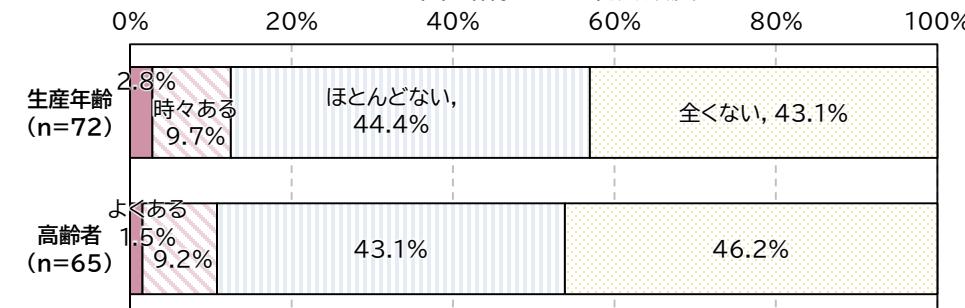
高松・曙町・緑町・泉町		
生産年齢(n=204)		
1位	徒歩	60%
2位	自転車(所有)	25%
3位	鉄道・モノレール	21%
高齢者(n=190)		
1位	徒歩	57%
2位	自転車(所有)	21%
3位	自動車(自分で運転)	13%

出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査



出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図：路線バスの利用頻度



出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図：交通手段が理由で外出をあきらめたことの有無

- ・【人口/高齢化率】人口は高松町・曙町で増加傾向、泉町は微減、緑町は減少傾向にある。泉町・緑町は企業立地や非可住地が多く人口が少ない。高齢化率は、高松町が最も高いものの約21%であり、最も低い緑町で約6%である。
- ・【交通不便地域】運行本数の少ないバス路線周辺やバス停から距離のある場所など、曙町の東部に交通不便地域が存在する。
- ・【鉄軌道駅/移動手段】自宅からの外出時、最初に利用する鉄軌道駅は、生産年齢・高齢者ともに90%以上が立川駅である。生産年齢・高齢者ともに徒歩での移動が最も多く、50%を超えている。
- ・【路線バス利用頻度/外出をあきらめたことの有無】高齢者の約14%が週1回以上、路線バスを利用している。交通手段が理由で外出をあきらめたことのある高齢者の割合は約11%である。

# 地域別カルテ④ (高松町・曙町・泉町・緑町) -施設立地・主な利用施設- (裏)

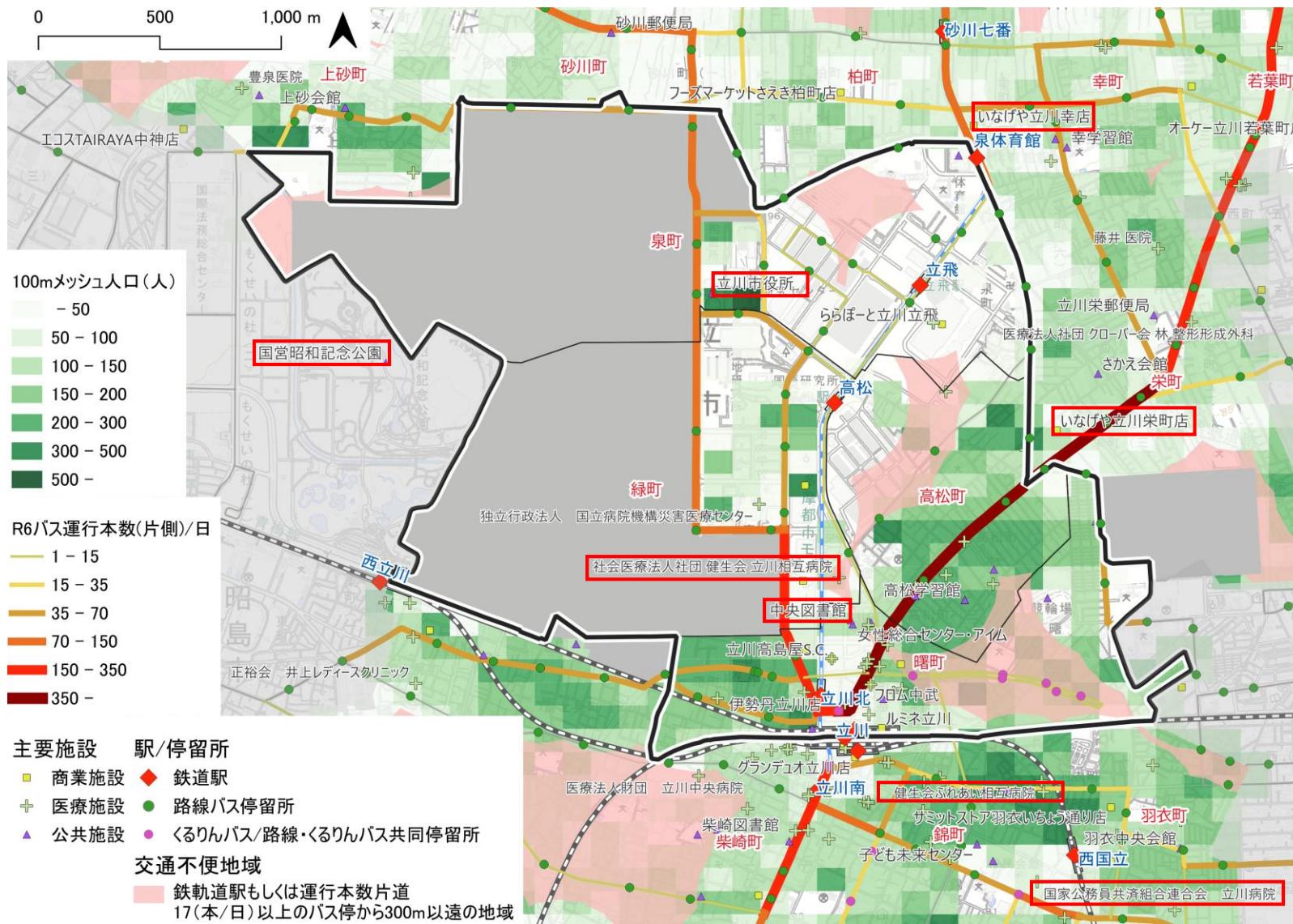


図:現況図(高松町・曙町・泉町・緑町)

出典:国土数値情報、国土地理院地図より作成

## ■ ワークショップにおけるご意見の抜粋 (主な利用施設に関する内容)

- ・泉町には日常的な買い物をするためのスーパーがなく、立川駅まで出ていく必要がある(バスがライフライン)。
- ・曙町では買い物等の日常生活では駅まで徒歩や自転車で移動している。高松学習館や市役所などの公共施設に行くには不便(立川駅を経由する必要あり)。

## ■ 【参考】(市域全体の最も・2番目・3番目によく出かけた目的における行先)

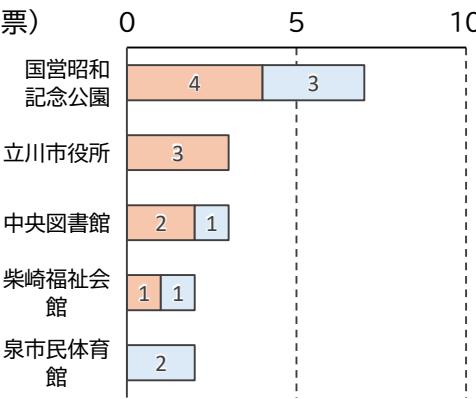
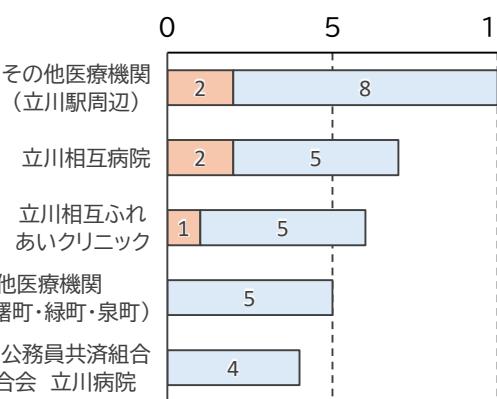
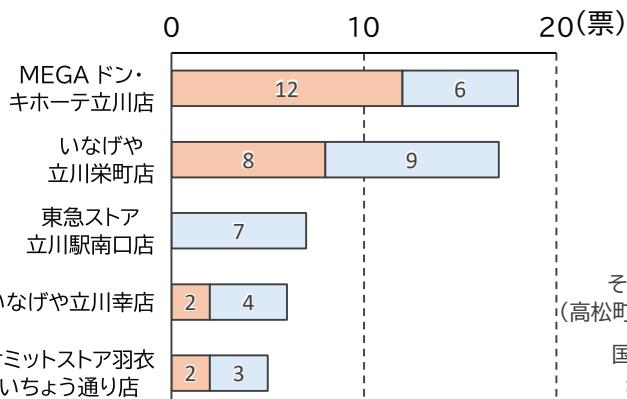
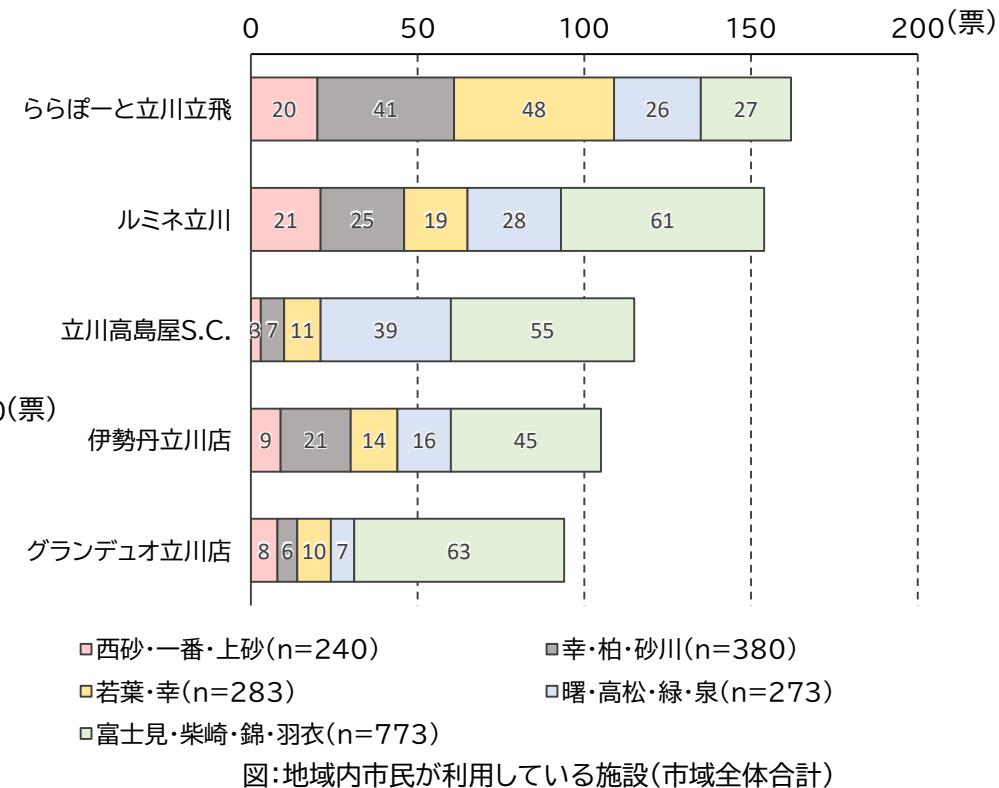


図:地域内市民が利用している商業施設

図:地域内市民が利用している医療施設

図:地域内の市民が利用しているその他(公共等)施設

- ・【商業施設】立川駅前を中心に大規模な商業施設が集中して立地している。駅前の大規模な商業施設を除くと、「いなげや立川栄町店」の利用が多い。
- ・【医療機関】立川駅を中心に多くの医療機関が立地している。駅周辺の医療機関や大規模な病院の利用も多い。
- ・【公共施設】市役所、窓口サービスセンター、女性総合センター、泉市民体育館など主要な公共施設のほか、高松学習館、高松図書館、曙福祉会館などの地域の公共施設も複数立地している。

# 地域別カルテ⑤ (富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町) -地域・移動特性- (表)

- 主要施設
- 商業施設
  - 医療施設
  - 公共施設
- 駅/停留所
- 鉄道駅
  - 路線バス停留所
  - ぐるりんバス/路線・ぐるりんバス共同停留所
- 交通不便地域
- 鉄軌道駅もしくは運行本数片道17(本/日)以上のバス停から300m以上の地域

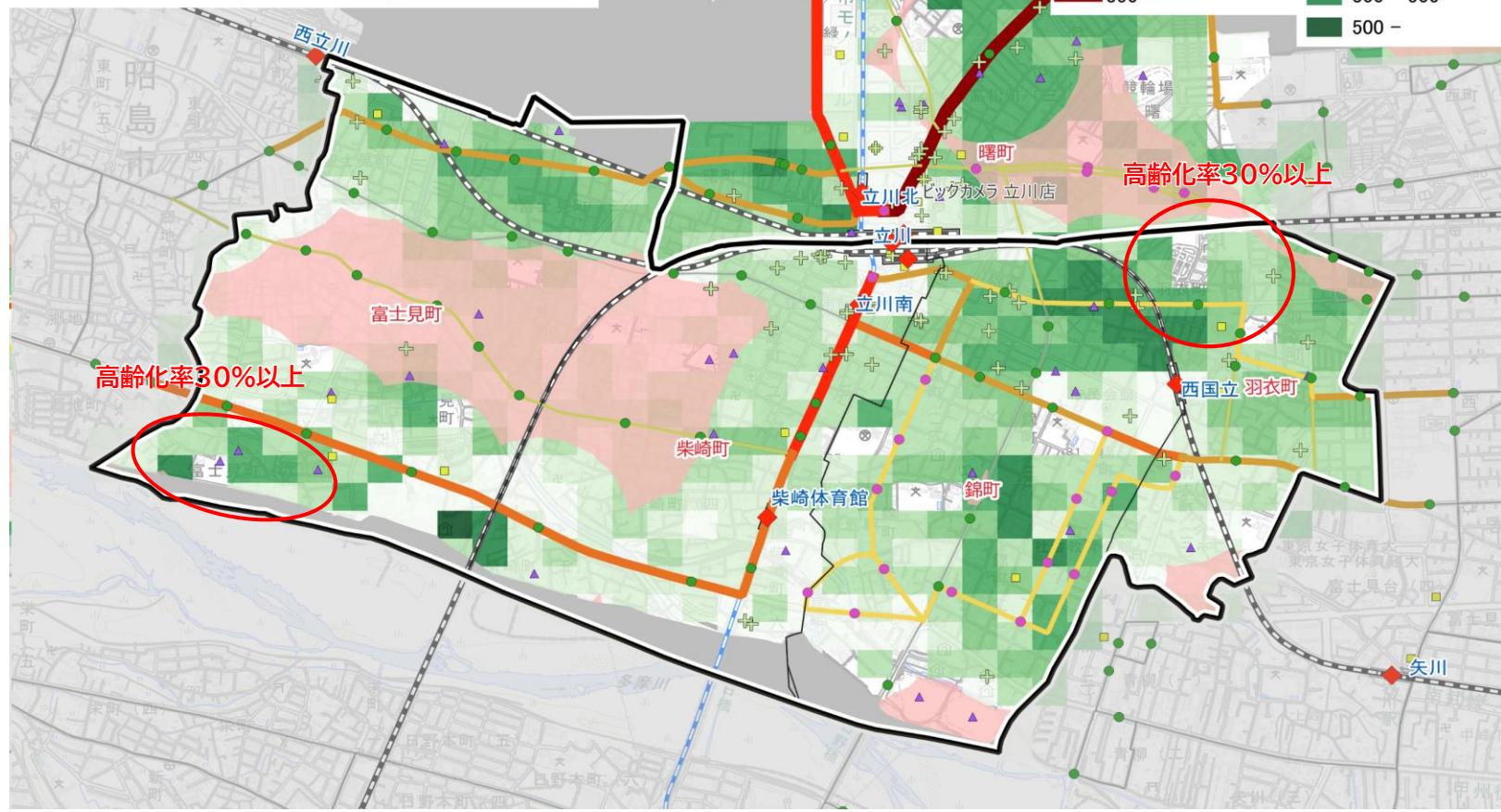


図: 現況図(富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町)

出典: 国土数値情報、国土地理院地図より作成

表: 町別の市民の行先(発着地)

発地	総トリップ数(発)	ゾーン内々	着地(上位5位)				
			1位	2位	3位	4位	5位
富士見町・柴崎町	10,400	36%	立川駅周辺	東京23区	昭島市	泉町・緑町(東)	八王子市
			16%	12%	6%	4%	3%
羽衣町・錦町	8,600	35%	立川駅周辺	東京23区	国立市	八王子市	富士見町・柴崎町
			16%	12%	5%	3%	2%

出典: 株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」

表: 町別人口推移・R6高齢化率

	人口	2015年→2024年人口増減率	高齢化率(R6)
富士見町	19,041	96%	29.4%
柴崎町	10,532	106%	23.3%
錦町	18,551	114%	20.2%
羽衣町	9,417	97%	28.5%
合計	57,541	102.8%	25.2%

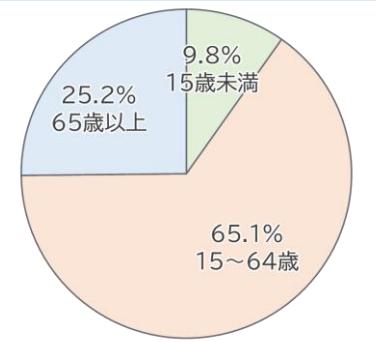


図: R6年齢構成比  
出典: 国勢調査、住民基本台帳より作成

表: 自宅からの外出時最初に利用する鉄軌道駅

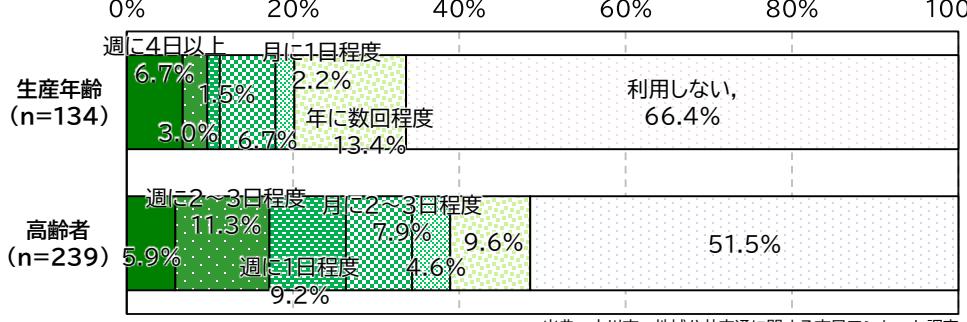
富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町		
生産年齢 (n=129)		
1位	立川	64%
2位	西国立	23%
3位	西立川	9%
高齢者 (n=198)		
1位	立川	62%
2位	西国立	24%
3位	西立川	8%

※上位3位のみ抜粋

表: 主な目的における外出時市内において利用する交通手段

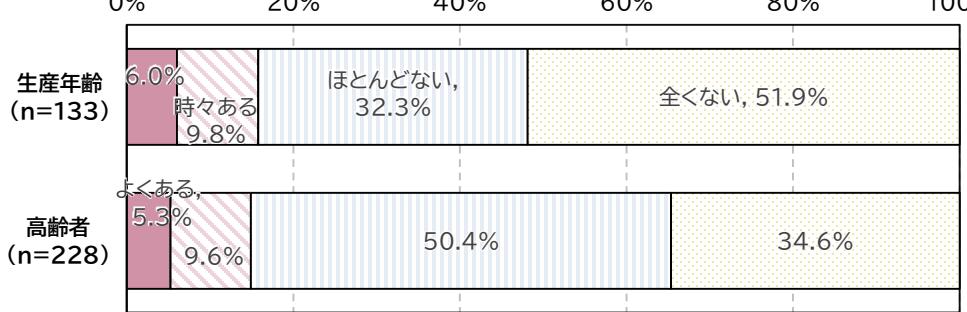
富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町		
生産年齢 (n=373)		
1位	徒歩	51%
2位	自転車(所有)	35%
3位	鉄道・モノレール	18%
高齢者 (n=601)		
1位	徒歩	43%
2位	自転車(所有)	30%
3位	路線バス	27%

出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査



出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 路線バスの利用頻度



出典: 立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査

図: 交通手段が理由で外出をあきらめたことの有無

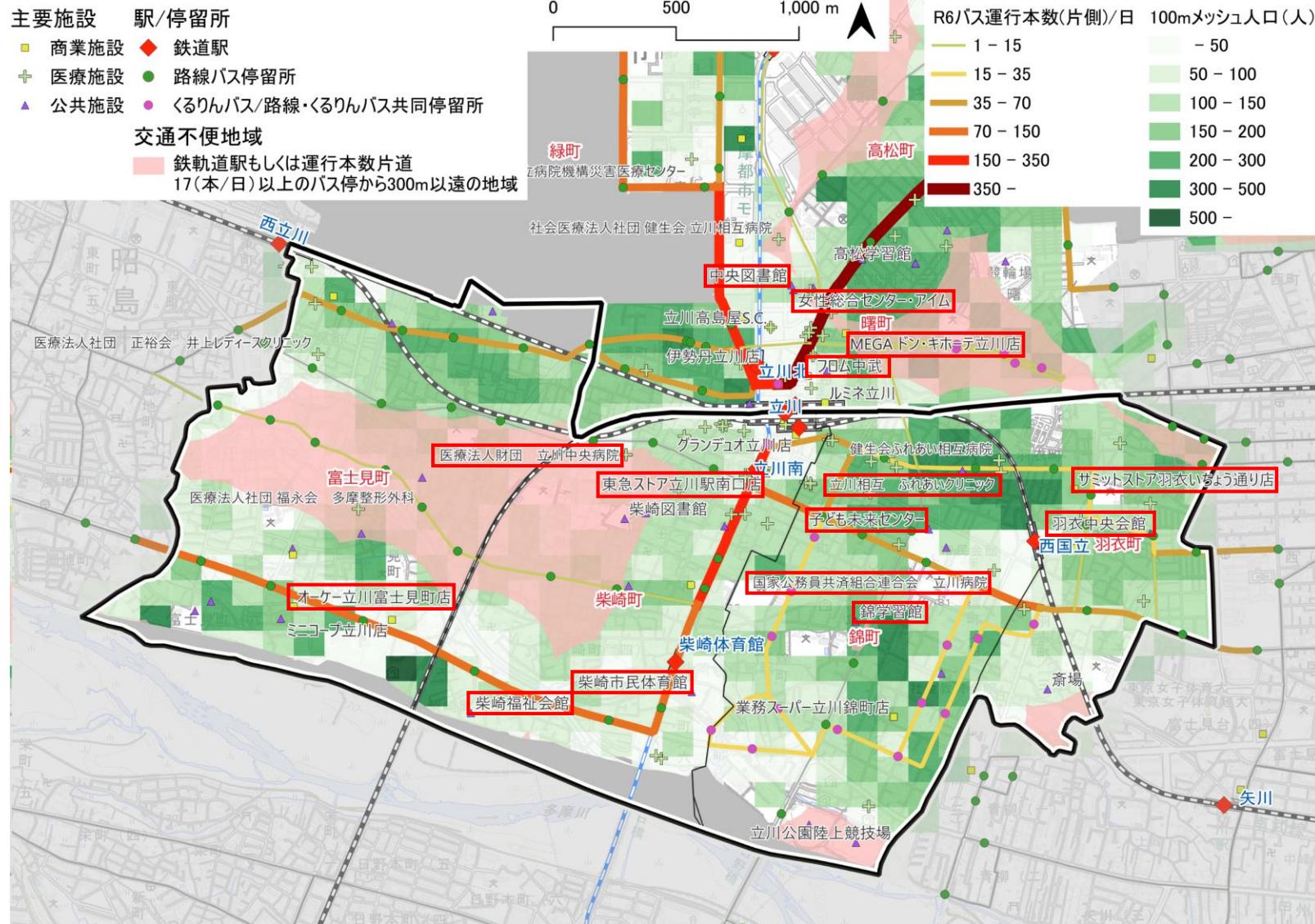
・【人口/高齢化率】人口は柴崎町で微増、錦町では増加傾向であるのに対し、富士見町・羽衣町では微減傾向にある。高齢化率は、富士見町が最も高く約29%であり、最も低いのが錦町で約20%である。富士見町や羽衣町の一部地域では高齢化率が30%を超えている地域が存在する。

・【交通不便地域】運行本数の少ないバス路線周辺やバス停から距離のある場所など、富士見町の坂上に広い範囲の交通不便地域が存在する。

・【鉄軌道駅/移動手段】自宅からの外出時、最初に利用する鉄軌道駅は、生産年齢・高齢者ともに60%以上が立川駅である。生産年齢・高齢者ともに徒歩・自転車での移動が多い。

・【路線バス利用頻度/外出をあきらめたことの有無】高齢者の約26%が週1回以上、路線バスを利用している。交通手段が理由で外出をあきらめたことのある高齢者の割合は約15%である。

# 地域別カルテ⑤ (富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町) -施設立地・主な利用施設- (裏)



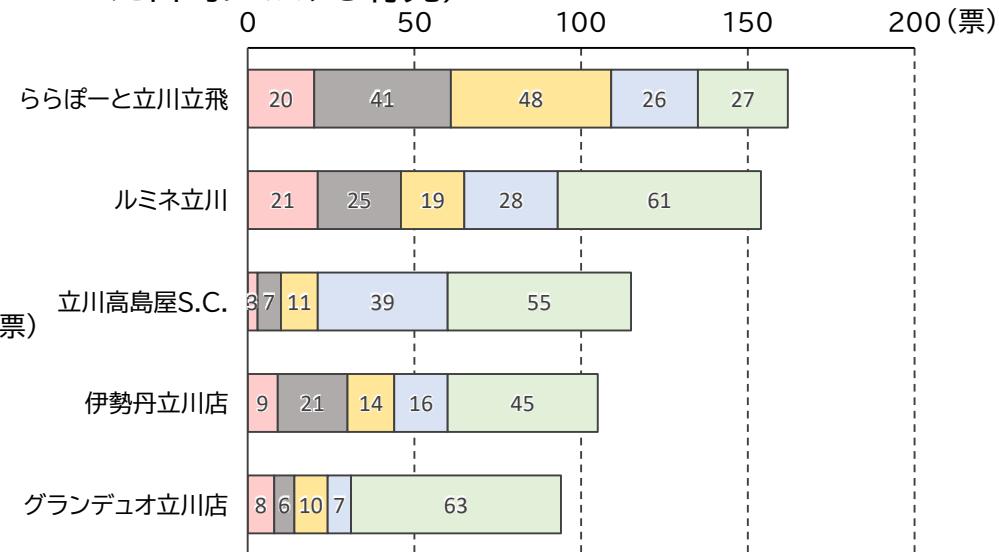
図：現況図(富士見町・柴崎町・錦町・羽衣町)

出典：国土数値情報、国土地理院地図より作成

## ■ ワークショップにおけるご意見の抜粋 (主な利用施設に関する内容)

- ・富士見町では地域拠点として滝ノ上会館をよく利用している(路線バスの便数が少ない)。
- ・富士見町4丁目周辺で移動手段を持たない高齢者は、商業施設が遠いと荷物負担になるため、ネットスーパーを利用している人もいる(外出が減っている)。
- ・富士見町では坂上と坂下で地域格差がある。坂下は団地周辺にスーパーなどが立地。坂上(富士見町4丁目、5丁目周辺)にはスーパーがない。
- ・サミットや西友で買い物。【羽衣町】
- ・業務スーパーや西友(青柳通り)がある。京王バスが減便し移動手段がなくなったことで、日常の買い物はネットスーパーを利用している高齢者もいる(本当は商品を見て買いたい)。【錦町】
- ・高齢者は通院でタクシーを利用していることが多い。【錦町】

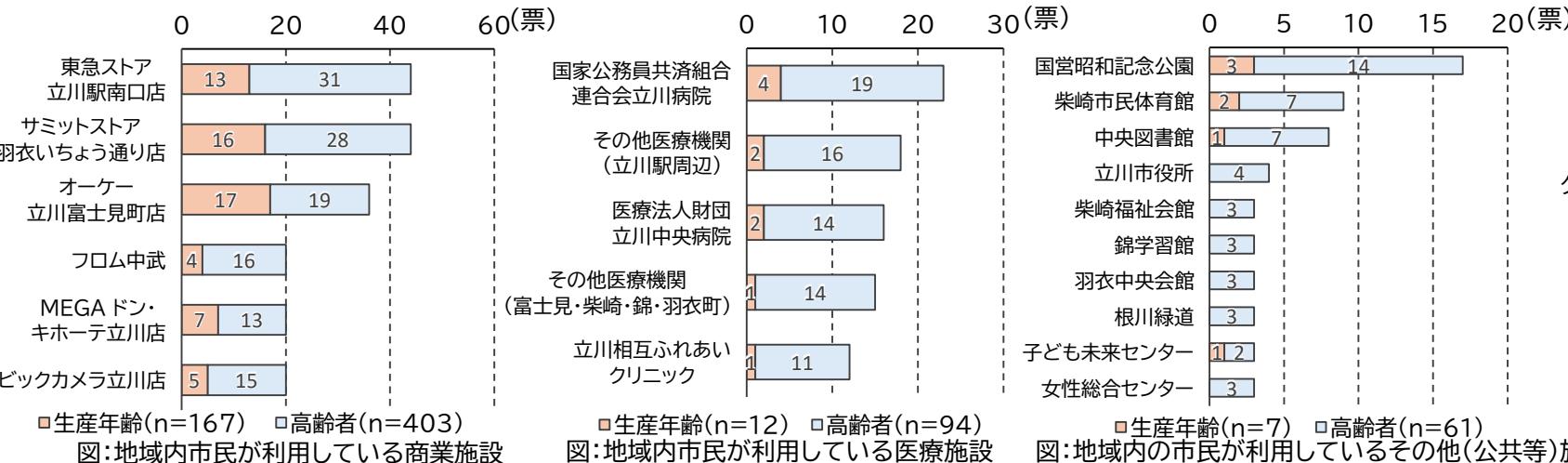
## ■ 【参考】(市域全体の最も・2番目・3番目によく出かけた目的における行先)



□西砂・一番・上砂(n=240) □幸・柏・砂川(n=380)  
 □若葉・幸(n=283) □曙・高松・緑・泉(n=273)  
 □富士見・柴崎・錦・羽衣(n=773)

図：地域内市民が利用している施設(市域全体合計)

※「主な外出目的」：市民アンケートにおいて日常生活における1・2・3番目に多いと回答された目的  
 ※上位5施設を掲載、【参考】に示す市域全体で訪れる機会の多い施設は集計から除外



・【商業施設】駅前に大規模な商業施設が複数立地している。立川駅前の商業施設を除くと、「サミットストア羽衣いちよう通り店」や「オーケー立川富士見町店」の利用が多い。  
 ・【医療施設】立川駅を中心に多くの医療機関が立地している。立川駅周辺の医療機関や大規模な病院の利用が多い。  
 ・【公共施設】子ども未来センターやたましんRISURUホールといった主要な公共施設が立地するほか、柴崎福祉会館や柴崎学習館・錦学習館、滝ノ上会館などの地域の公共施設が複数立地している。